

## 獨協大学 第6回図書館講演会

2022年6月29日(水)

「レオナルド・ダ・ヴィンチとアルブレヒト・デューラー

ー レオナルドの『手稿』から読み解くルネサンス美術」

ドイツ語学科 青山 愛香

### レオナルドの手稿

Codex Atlanticus, Mailand, Biblioteca Ambrosiana:

*Leonardo da Vinci, Il codice atlantico della Biblioteca Ambrosiana a Milano,*

hg. v. A. Marinoni, 24 Bde., Florenz 1974-1980.

Codex Leicester, Sammlung Bill Gates, Seattle:

*The Codex Hammer* [d. i. der Codex Leicester], hg. v. C. Pedretti, Florenz 1987.

Codices Madrid I und II, Madrid, Biblioteca Nacional:

*The Manuscripts of Leonardo da Vinci at the Biblioteca Nacional of Madrid,*

hg. v. L. Reti, 5 Bde., New York 1974.

Codex Arundel, London, British Museum:

*I manoscritti e I disegni di Leonardo da Vinci, il Codice Arundel 263, 4Bd., Rom*

1923-1930.

Codex Forster, London, Victoria and Albert Museum:

*Leonardo da Vinci, Il Codice Forster del Victoria and Albert Museum di Londra,* hg.

v. A. Marinoni, 3 Bde., Florenz 1992

K/P; K. D. Keele/C. Pedretti, *Leonardo da Vinci. Corpus of the Anatomical Studies in the Collection of her Majesty the Queen at Windsor Castle*, 3 Bde., London/New York 1978-1980.

Ms. A-I: Manuskript A-I, Paris, Institut de France:

*Leonardo da Vinci, I manoscritti del Institut de France,* hg. v. A. Marinoni, 12 Bde., Florenz 1986-1990.

PDM: C. Pedretti (Hg.) , *The Drawings and Miscellaneous Papers of Leonardo da Vinci in the Collection of her Majesty the Queen at Windsor Castle*, Bd. I: *Landscape, Plants and Water Studies*, London 1982, Bd. 2: *Horses and Other Animals*, London 1987 (Bd. 4: *Figure Studies*, u. Bd. 5:

Miscellaneous Papers)

RL: Royal Library, Windsor Castle: *The Drawings of Leonardo da Vinci in the Collection of her Majesty of the Queen at Windsor Castle*, hg. v. K. Clark/C. Pedretti, 3 Bde., London 1968-1969 (zuerst 1935) [Neu-Edition: K. D. Keele/C. Pedretti, 1978-1980]

### レオナルド・ダ・ヴィンチ 《パリ手稿》

Ms. A-I: Manuskript A-I, Paris, Institut de France:

*Leonardo da Vinci, I manoscritti del Institut de France*, hg. v. A. Marinoni, 12 Bde., Florenz 1986-1990.

レオナルドの《パリ手稿》の呼称は所蔵先のパリ高等学院に由来している。レオナルドのメモや記録は、素描も含めて彼の死後レオナルドの弟子フランチェスコ・メルツィ (1491/92-1570 頃) が引き継ぎ、その後は息子が 1570 年に相続した。しかし、この段階で多くが転売、切断される。1590 年頃、彫刻家で美術蒐集家であったポンペオ・ペローニ (1533-1608) が散逸した 2500 葉を入手した。1608 年にレオーニが亡くなると、所有者を変えて 1637 年にミラノのアンブロジアーナ図書館に入る。1795 年のナポレオン戦争の最中、現在《パリ手稿》と呼ばれる A から M の 12 冊の手稿と《アトランティコ手稿》が、アンブロジアーナ図書館からパリの高等学院に持ち去られた。ナポレオンの 1815 年の敗北後、《アトランティコ写本》のみが、ミラノに変換される。パリの高等学院は現在でもレオナルドの手稿の最も大きなコレクションを有している。

### 手稿 A

4 折/97 葉 14, 6×21, 3cm

1490-91 年、1492 年

切り取られたページは現在手稿 B と合わせて Codex Ashburnham となっている)

内容: 絵画の技術に関するもの。視覚、遠近法、プロポーシオン、動き、メカニカルなもの。画家の視点からの水の性質について。メルツィ編集の「絵画論」には 145 項目が収録されている。

### 手稿 B

4 折/71 葉 17, 6×23, 5cm

1487-1489 年頃

レオナルドのメモでは最古のもの。オリジナルの装丁。本としてまとめられている。1840 年に Guglielmo Libri が取り出した 10 ページ以外は、完全にオリジナルである。

内容: 軍事的な要塞、機械、飛行機、プロペラの研究、海中着、理想都市と教会のデザイン。

手稿 C

2 折/28 葉 31×22cm

1490-1491 年、4 月 23 日に執筆を開始、1491 年に仕上げている。《パリ手稿》の中で最も大きいサイズ。  
内容：メインは絵画における光と影の描写方法。珍しく一つのテーマのみが扱われている。

手稿 D

4 折/10 葉 15, 8×22. 3cm

1508-1509 年

内容：ここでは視覚の仕組みが研究されていて、眼球の働き、目の光と影、色の認識について考察している。18 世紀半ばにアンブロジアーナ図書館に入り、現在のパリ手稿の一冊となった。

手稿 E

8 折/80 葉 9, 9×15cm

1513-1514 年

内容：主なテーマは重さと重力、引力。ローマのポンティーノ湿原の干拓システムについて。幾何学と鳥の飛翔について。メルツィ編集の「絵画論」には 31 項目が収録されている。

手稿 F

8 折/90 葉 10×14. 5cm

1508 年 9 月 12 日から 10 月にかけて。

内容：主なテーマは水、視覚、地質学、天文学、月光の性格について。大洪水に関する記述は、レオナルドの終末論に深く関わる。

手稿 G

8 折/96 葉 9, 5×14cm

1510-1515 年

内容：川、植物、コインの鑄造過程について。メルツィ編集の「絵画論」には 54 項目が収録されている。パリ手稿の中では最晩年に属し、鳥の飛翔に関する項目に重要なものがある。

手稿 H

8 折/141 葉 7, 3×10, 3cm

1493-1494 年

オリジナルの状態では三冊のノートが一つのカバーにまとめられていた。

内容:箴言とユークリッド幾何学と空間幾何学が扱われている。レオナルドは恐らく数学者 Luca Paciloli (1445-1514/17) の指導を受けている。

#### 手稿 I

16 折/141 葉 7,3×10cm

1497-1499 年

オリジナルの状態では二冊のノートからなる。

内容：ユークリッド幾何学、建築とラテン語。

この時期、レオナルドは自身のラテン語の能力を向上させようとしていた。Codex Trivulzianus にも見られる。他には遠近法と人体のプロポーションの研究。ポケットサイズである。

#### 手稿 K

16 折/127 葉 6,6×9,5cm

1503-1507 年

三冊のノート (K1, K2, K3)。オリジナルのカバーで保管されている。

内容：主に数学、光学、水力学に関するメモが多い。月の観察、天体の構造に関する記述も見られる。

#### 手稿 L

16 折/94 葉 7,5×10,1cm

1497-1502 年

装丁はオリジナルの状態で保管されている。

内容：築城と防衛について。1502-03 年にかけてレオナルドはチェーザレ・ボルシア (1475-1507) のために軍備の装備を考案した。fol. 66r には、黄金の角を越えるための橋のデザインが見られる。

#### 手稿 M

16 折/94 葉 7×9,8cm

1490-1500 年頃

内容：ユークリッド幾何学、弾道学、植物学、木の成長について。このノートは、レオナルドがブラマンテ (1444-1514) と交流があったことを示す。ブラマンテは 1506 年に、ローマのペテロ大聖堂の構築に参加した。科学者レオナルドの思考過程をよく示す手稿である。

#### 参考文献

杉浦明平訳 『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』 (上) (下) 岩波文庫 1954 年

レオナルド・ダ・ヴィンチ 『パリ手稿』 日本語テキスト/原典翻刻及び校訂 アウグスト・マリノニ; 日本語訳 斎藤泰弘 (他) 岩波書店 1989-1995 年

裾分一弘著 『レオナルドの手稿、素描・素画に関する基礎的研究』 研究篇 資料篇

中央公論美術出版 2004 年

「ミラノ アンブロジーアーナ図書館・絵画館所蔵レオナルド・ダ・ヴィンチ展—天才の肖像」  
東京都美術館 2013 年 4 月～6 月開催



《髪を生やした老人の肖像》  
1510-1515年? 赤チヨーク  
トリノ、レアーレ図書館所蔵



《レオナルドの肖像》  
ラファエル・モールガンに基づく  
ジェームズ・ボッセルホワイトの銅  
版画 1817年



ミラノ、  
アンブロジアーナ  
図書館



パリ、  
学士院図書館



レオナルド・ダ・ヴィンチ  
《パリ手稿》および《アトラン  
ティコ手稿》  
獨協大学図書館 貴重書閲覧室



レオナルド・ダ・ヴィンチ 《パリ手稿》 12冊  
獨協大学図書館所蔵



## A手稿

4折/97葉/21.3×14.6cm/1490-91, 1492年  
メルツイ編集の「絵画論」には145項目が収載されている。



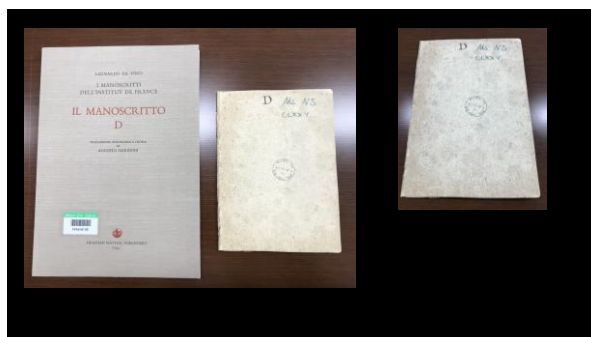
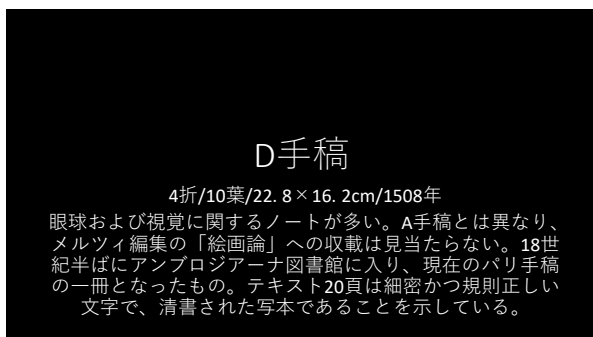
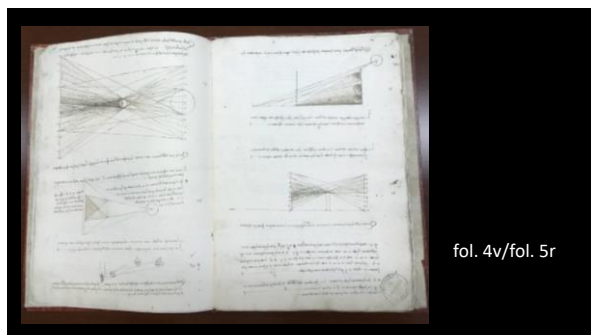
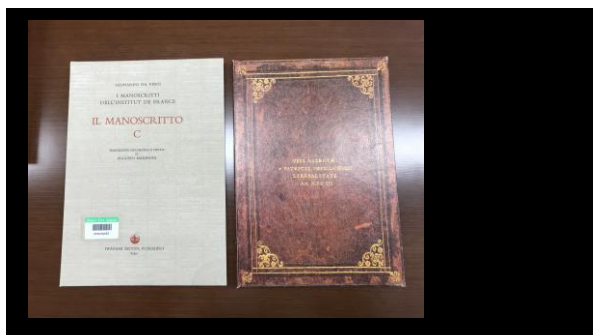
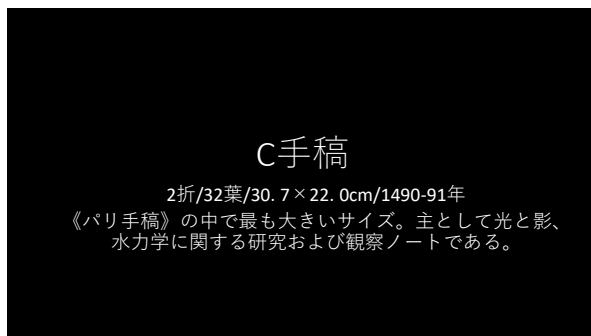
fol. 62v/fol. 63r



## B手稿

4折/71葉/23.1×16.7cm/1487-89年  
この《B手稿》には、主に建築に関するノート、軍事技術や飛行機械のメモ、スケッチが散見される。  
最も古い手稿。







## E手稿

8折/80葉/15.0×9.9cm/1513-14年

幾何学、鳥の飛翔に関するノートが重要。メルツイ編集の「絵画論」には31項目が収載されている。



## F手稿

8折/96葉/14.5×10.0cm/1508年

水力学と宇宙論がこの手稿の主な内容。水の流れについての考察および大洪水に関する記述は、レオナルドの終末論に深く関わる。地質学の記述も散見される。







fol. 7v/fol. 8r

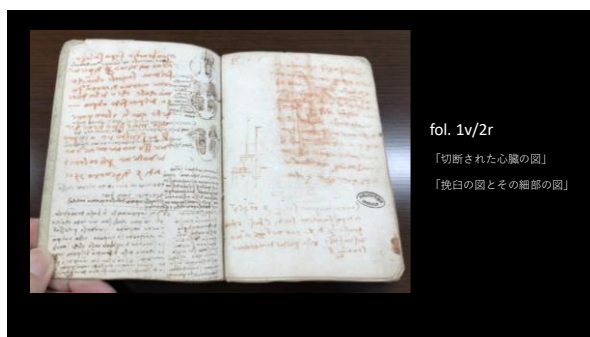
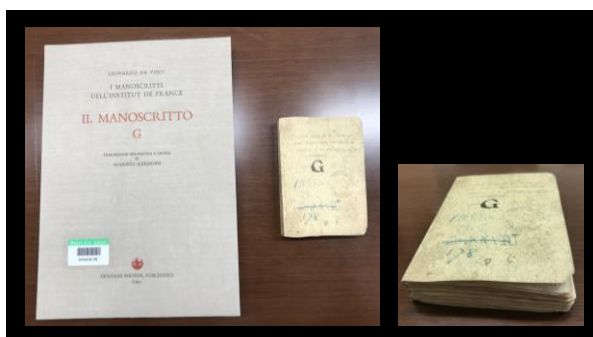
3つの滝の図

水路内の水の波の図

## G手稿

8折/96葉/14.0×9.5cm/1510-15年

光学、幾何学、鳥の飛翔に関するノートが中心。  
「絵画論」に54項目が収載されている。《パリ手  
稿》の中で最晩年に属し、鳥の飛翔に関する項  
目に重要なものがある。



fol. 1v/2r

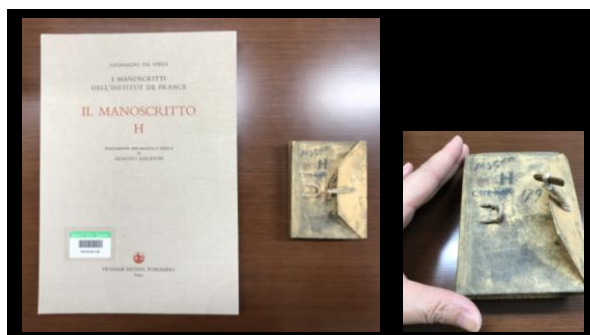
「切断された心臓の図」

「挽臼の図とその細部の図」

## H手稿

16折/141葉/10.3×7.3cm/1493-94年

水の考察や光学的なノートが主として記されている。  
また寓話の断片が綴られている。水車や水力学に関するノートは、《アトランティコ手稿》に  
記された水車の建造計画との関連を示唆する。





fol. 3v/4r

## I手稿

16折/141葉/10.0×7.3cm/1497-99年

《H手稿》同様のポケットサイズ。内容は水力学や幾何学のほか、ラテン語に関するノートが多い。



fol. 96r

## K手稿

16折/127葉/10.0×6.6cm/1503-07年

1674年にアルキンティ伯爵からアンブロジアーナ図書館に寄贈された。左右幅が一番狭い手稿。主に数学、光学、水力学に関するメモが多い。月の観察、天体の構造に関する記述も見られる。



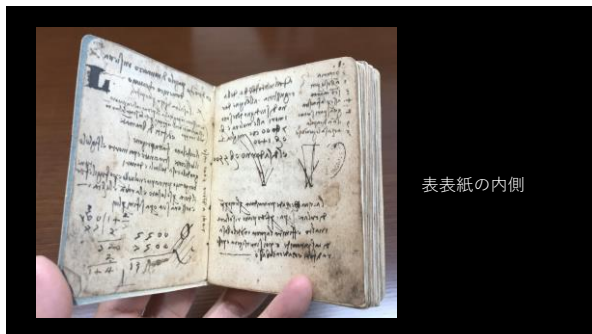
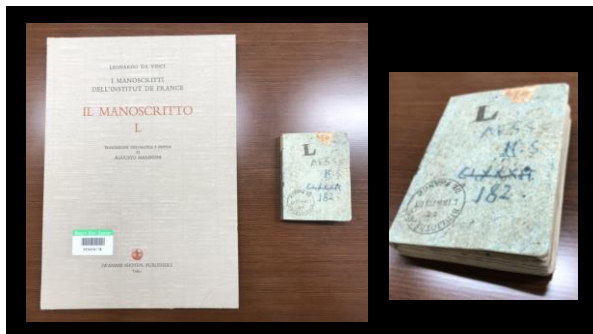


fol. 14v/15r

## L手稿

16折/94葉/10. 1×7. 5cm/1497-1502年

《K手稿》の直前に書かれた手稿。軍事工学と鳥の飛翔に関する考察が散見され、特に《アトランティコ手稿》に記述された論考や図との比較が重視される。「絵画論」に2項目が収載されている。



表表紙の内側

## M手稿

16折/94葉/9. 8×7. 0cm/1499-1500年

力学や幾何学のメモが多い。《アトランティコ手稿》やウィンザー城王室図書館所蔵の手稿にも関係する記述が見られる。科学者レオナルドの思考過程をよく示す手稿と言われる。

